

## 横浜市のカジノ誘致中止を歓迎する声明

2021（令和3）年9月10日

全国カジノ賭博場設置反対連絡協議会

代表幹事 新里 宏 二

横浜市の山中竹春市長は、本日、市議会での所信表明演説において、カジノ誘致の撤回を宣言しました。

山中市長は、カジノ誘致計画を推進してきた前市長のほか合計8名もの立候補者による激しい選挙戦を勝ち抜き、その公約どおり、今般の宣言をするにいたりました。選挙戦でカジノ誘致反対を表明した候補者が集めた票数は、前市長ら賛成派の票数の実に4倍にもものぼり、カジノを誘致しないという横浜市民の圧倒的な意思があらためて明らかにされました。

ここにいたるまでには、横浜市民の間で、住民投票条例制定運動、また、市長リコール運動など住民自治実現のための取組みが行なわれました。こうした地道、かつ、多様な取組みが、ここに結実したものと思います。

今後、誘致関連予算の執行が停止され、横浜市の関連部署も解散することになるものと思われまます。私たちは、カジノ開設に反対する全ての人々とともに、横浜カジノ誘致狂騒曲の終幕をお祝いし、また、横浜市においてカジノ誘致反対の運動に取り組まれてきたみなさまに対し、心からの感謝とねぎらいの言葉を送りたいと思います。

今、全国には、大阪、和歌山、長崎など、いまだにカジノ誘致に前のめりな自治体が存在し、誘致反対の住民らが粘り強い取組みをしています。横浜の闘いは、そうした全国の闘いに勇気と指針を与えてくださいました。私たちは、横浜の闘いに学び、日本のどこにもカジノを開設させない運動を、さらに大きくしていく決意を新たにします。

以上